

## 平成26年度就農促進対策助成事業

事業主体名 国分中央高等学校

### 1 目的

農業に対する興味・関心を高めるとともに、農業の持つ可能性や必要性、環境保全に対する意識を高め、総合的な視野に立ち農業全般を広い視野で展開できる能力や態度を育成する。

### 2 実施状況

#### (1) 農業体験講話

12月12日（金）本校にて、オーストリッチファーム霧島の丸山洋行氏に講師を依頼し、「オーストリッチファーム霧島の成り立ち」というテーマで、園芸工学科の全生徒を対象に講話をしていただいた。ダチョウ飼育というユニークな取組に生徒らは熱心に聞き、多くの質問があり、農業に対して興味・関心を深めることができた。

今回は多角的な農業経営の在り方を学んだり、自分の生き方や考えを見つめたりする契機になり、進路選択の参考になった。



#### (2) 営農の門出を励ます会

営農の門出を励ます会を2月3日（火）に本校で行った。参加者は営農予定者9人と始良・伊佐地域振興局農林水産部農政普及課長を始め、霧島市長、農業関係機関、園芸工学科全員の計約130人であった。農業関係機関の課長と霧島市長による励ましの言葉や営農予定者が抱負を述べて決意を表した。また、営農予定者に記念樹を授与し、最後は全員で乾杯（霧島茶）をして営農予定者を送り出した。



### 3 今後の課題と取組

入学者の殆どが非農家の生徒になり、女子の割合も増えてきた。農業に興味関心を持つ生徒は少なくないが、職業としての農業や農業生産法人への就職まで考える生徒は少ない。そこで、情報を提供し、見聞を広げるうえで、生徒の視察研修の内容や場所、及び農業体験講話の講師の選定、さらに新しい事業を取り入れることによって、農業関係職種への従事者を増やしていく工夫が必要である。